

事業所自己評価表(第4回)

事業所名: スミール

記入年月日: 令和4 年 8 月 29日

		チェック項目	職員からの意見 (工夫している点、課題や改善すべき点など)
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	人数が増えてきたため、スペースの拡張を検討している。
	2	職員の配置数は適切であるか	ピーク時間帯に職員が集中できるよう勤務シフトを工夫している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	視覚支援を取り入れ、活動の流れを一目で分かるようにしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	活動前後の整理整頓をスタッフ全員で意識して行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	目標設定を各チームで行い、次回会議で振り返りを共有している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	回答率を上げるため、提出期限の柔軟対応を行っている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページに「改善報告」欄を設け、透明性を確保している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	オンライン研修を導入し、参加の柔軟性を高めた。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	保護者からの聞き取りを丁寧に行い、生活背景を把握している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	ツール活用に慣れるため、定期的に勉強会を実施している。
	11	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	職員全員が計画書を共有し、共通の支援意識を持てるようにしている。
	12	活動プログラムの立案をチームで行っているか	月ごとにテーマを決め、チーム単位で案を出し合う仕組みを整えている。
	13	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	新人職員のアイデアを積極的に採用し、マンネリを防いでいる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	朝の会などは全体で行い、午後は個別支援の時間を確保している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	ボードに担当を明示し、誰が何を行うか一目でわかるようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援記録をチーム内で確認し、次回への課題を話し合っている。
関係機関や保護者との連携	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	記録のフォーマットを統一し、記入ミスを防止している。
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	モニタリング時には保護者面談を行い、意向を反映している。
	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	参加者の専門性が活かせるよう、事前に情報を整理して臨んでいる。
	20	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	医療機関・保育園・学校などと情報交換を継続している。
	21	地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	地域の発達支援センターと連携し、情報共有を定期的の実施している。
	22	子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	定期的に医療機関へ報告書を提出し、支援内容を共有している。
	23	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	年に数回、地域の子どもたちとの交流イベントを企画している。
	24	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	送迎時に短時間でも、その日の様子を必ず伝えるようにしている。

		チェック項目	職員からの意見 (工夫している点、課題や改善すべき点など)
保護者への説明責任等	25	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	書面に加えて、口頭でわかりやすく補足している。
	26	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	計画書の言葉が難しい部分は、具体例を交えて説明している。
	27	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	保護者が話しやすい雰囲気を作るよう、笑顔と傾聴を意識している。
	28	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	イベントを通して自然に保護者同士が関わられるようにしている。
	29	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情や意見を受け付ける「意見ボックス」を設置している。
	30	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	イベントの写真を掲載し、家庭でも話題にしやすい内容にしている。
	31	個人情報の取扱いに十分注意しているか	書類の持ち出しを禁止し、保管場所を施錠管理している。
	32	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	コミュニケーションボードを設置し、意思表示の手助けをしている。
非常時等の対応	33	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	年に1回、防犯・感染症・災害対応の訓練を実施している。
	34	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	実際の導線を確認しながら、時間を計測して訓練している。
	35	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	お薬手帳のコピーを必ず提出してもらっている。
	36	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	給食業者と情報共有し、誤提供防止のチェック体制を整えている。
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	事例を集約して月1回の会議で共有している。